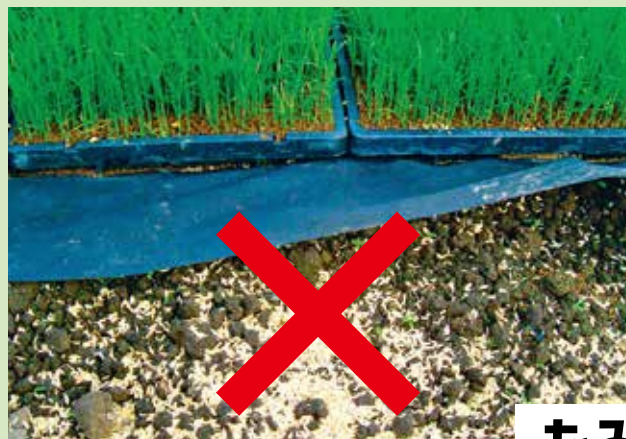


稲わら・もみがらを水稲育苗施設内や 周辺に置かないでください!

「乾燥状態で冬を越した**稲わら・もみがら**」には、いもち病菌が付着しており、そのいもち病菌が苗に移ることで葉いもちの発生を助長します。種子消毒や育苗期防除とあわせて、耕種的防除も徹底してください。



もみがら



育苗期間中に育苗施設周辺で使わない



稲わら

水稲の育苗施設内及び周辺での**もみがら**の放置や使用(左、中)**稲わら**の保管(右)は危険です。

冬期間に屋外で濡れた稲わら・もみがらのいもち病菌は死滅します。

不要な稲わら・もみぐらは、秋～冬の間(田や畑など)に広げて濡らし、いもち病の伝染源を断ちましょう。

不明な点は最寄りの指導機関に相談してください